

動物実験に関する自己点検・評価報告書

高崎健康福祉大学

令和7年3月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 高崎健康福祉大学動物実験規程（令和4年改訂）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本方針に適合する動物実験規定が定められており、適切に運用されている。したがって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 高崎健康福祉大学動物実験規程（令和4年改訂） 令和6年度動物実験委員名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 学長は動物実験委員会を設置しており、基本指針にある3要件の委員を含んでいる。規程内にも委員会の構成や役割について明記されている。したがって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料

<p>高崎健康福祉大学動物実験規程（令和4年改訂）</p> <p>動物実験に関する以下の書式</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物実験計画書（様式1、1-2、1-3） 動物実験計画変更申請書（様式2） 動物実験実施報告書（様式3） 動物実験証明書（和文・英文）（様式4、5） 飼養保管施設設置承認申請書（様式6） 実験室設置承認申請書（様式7） 施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届（様式8）
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>動物実験の実施に必要な各種様式が整備されている。動物実験計画書は5年間有効であるが、「動物実験継続確認書」及び「動物実験修正計画書（継続）」を提出することで、毎年度末にそのまま継続する、変更して継続する、あるいは終了するかを選択し、定期的に実験計画の進捗確認を行う仕組みが構築されている。したがって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>動物実験計画書の様式に、搬入動物の微生物学的品質の記入欄、使用動物数の算出根拠の記入欄を設ける。</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input checked="" type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>高崎健康福祉大学動物実験規程（令和4年改訂）</p> <p>令和6年度動物実験計画書（様式1、1-2、1-3）</p> <p>令和6年度動物実験計画審査結果</p> <p>令和6年度動物実験計画承認書</p> <p>令和6年度動物実験の自己点検票（様式2-1）</p> <p>高崎健康福祉大学遺伝子組換え実験計画申請書・遺伝子組換え実験計画書</p> <p>高崎健康福祉大学薬学部動物実験施設利用要綱ならびに緊急時マニュアル（令和2年改訂）</p> <p>高崎健康福祉大学健康福祉学部動物実験施設利用要綱ならびに緊急時マニュアル</p> <p>高崎健康福祉大学農学部動物実験施設利用要綱ならびに緊急時マニュアル（令和2年施行）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>安全管理に注意を要する動物実験として、遺伝子組換え動物を用いる実験及び有害化学物質の投与動</p>

物実験が実施されている。遺伝子組換え動物を用いる実験については、「遺伝子組換え安全管理規程」や担当委員会が整備されており、遺伝子組換え実験安全委員会の承認後に動物実験計画の審査が行われる体制になっているが、動物実験計画書には遺伝子組換え実験の承認番号や承認期間の記入欄がなく、動物実験委員会と遺伝子組換え実験安全委員会等との情報共有体制が十分に確認できない状態であった。また、動物実験計画書では有害化学物質の投与動物実験が認められているが、「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関するガイドライン」の案が作成されていない。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、実施体制には一部改善すべき点がある。

4) 改善の方針、達成予定時期

「発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関するガイドライン」の早期の運用開始に努める。動物実験計画書に遺伝子組換え実験安全委員会の承認番号記入欄及び麻薬研究者免許証の登録番号等を記入する欄を設け、安全管理にかかわる情報が計画書の様式中で容易に確認できるよう工夫する。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

高崎健康福祉大学動物実験規程（令和4年改訂）

高崎健康福祉大学動物実験計画書（様式1、1-2、1-3）

令和6年度 動物実験の自己点検票（様式2-1）

令和6年度薬学部動物実験施設 保守契約書・保守点検実施報告書

令和6年度薬学部動物実験施設 飼育室フィルタ交換検査測定結果報告書

令和6年度薬学部動物実験施設 オートクレーブ法定点検実施記録

令和6年度健康福祉学部動物実験室 加湿器保守点検実施報告書

令和6年度農学部動物実験施設 空調機および換気設備系フィルタ清掃作業報告書

令和6年度農学部動物実験施設 オートクレーブ自主検査記録用紙

高崎健康福祉大学薬学部動物実験施設利用要綱ならびに緊急時マニュアル（令和2年改訂）

高崎健康福祉大学健康福祉学部動物実験施設利用要綱ならびに緊急時マニュアル

高崎健康福祉大学農学部動物実験施設利用要綱ならびに緊急時マニュアル（令和2年施行）

高崎健康福祉大学薬学部実験動物施設における感染症発生時の対応ガイドライン（令和2年改訂）

高崎健康福祉大学薬学部動物実験施設 業務管理マニュアル（令和2年6月）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

飼養保管施設の利用方法や飼育管理方法、そして災害発生時の対応マニュアルとして「高崎健康福祉大学（薬学部・健康福祉学部・農学部）動物実験施設利用要綱及び緊急時マニュアル」が整備されている。前回の検証で指摘のあった飼養保管施設の設置・承認の手続きや緊急時連絡先の掲示等も改善

されている。したがって、基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。

4) 改善の方針、達成予定時期

各施設の利用者向けマニュアル及び業務マニュアルにおいて、緊急時の他、平時の逸走動物への対応についても整理するべきである。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

令和6年度動物実験自己点検委員会議事録

動物実験に関する情報公開（委員会の構成/教育訓練）

<https://www.takasaki-u.ac.jp/guide/research/animal-experiment>

令和6年度動物実験計画書(様式1、1-2、1-3)

令和6年度動物実験計画承認書

令和6年度動物実験計画書審査結果

令和7年度動物実験計画書 審査記録

令和6年度動物実験に関する教育訓練の配布資料・実施日と出席者記録

令和6年度実験動物慰霊祭の実施（高崎健康福祉大学 Web サイト）

(<https://www.takasaki-u.ac.jp/news/public/103828.html>)

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

「動物実験計画書」の審査について、各委員が適切な審査を行っていることが審査結果記録から確認できた。委員会も必要に応じて対面及び持ち回り開催されており、審議内容が議事録として保管されている。また、委員会による飼養保管施設等の視察が定期的に行われ、その記録も保管されている。したがって、基本指針に適合し、適正に機能している。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>令和6年度高崎健康福祉大学動物実験計画書（様式1、1-2、1-3）</p> <p>令和6年度高崎健康福祉大学動物実験の自己点検票（様式2-1）</p> <p>令和6年度動物実験実施報告書（様式3）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>「動物実験実施状況報告書」及び「動物実験の自己点検票」が提出されており、審査結果の概要、計画との相違の有無を動物実験実施報告書に明記されている。したがって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>動物実験実施報告書及び年度ごとに提出されている動物実験継続確認書に、委員会意見の記入欄並および使用動物種、使用匹数の記入欄の追加を検討する。</p>

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>令和6年度高崎健康福祉大学動物実験計画書（様式1、遺伝子組換え実験を含むもの）</p> <p>令和6年度高崎健康福祉大学動物実験実施報告書（様式3、遺伝子組換え実験を含むもの）</p> <p>令和6年度高崎健康福祉大学遺伝子組換え実験計画申請書（遺伝子組換え動物を扱うもの）</p> <p>令和6年度高崎健康福祉大学遺伝子組換え実験計画書（遺伝子組換え動物を扱うもの）</p> <p>令和6年度薬学部動物実験施設 飼育室フィルタ交換検査測定結果報告書</p> <p>令和6年度薬学部動物実験施設 オートクレーブ法定点検実施記録</p> <p>令和6年度農学部動物実験施設 オートクレーブ自主検査記録用紙</p> <p>高崎健康福祉大学薬学部動物実験施設利用要綱ならびに緊急マニュアル（令和2年改訂）</p> <p>高崎健康福祉大学健康福祉学部動物実験施設利用要綱ならびに緊急時マニュアル</p> <p>高崎健康福祉大学農学部動物実験施設利用要綱ならびに緊急時マニュアル（令和2年施行）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p>

安全管理に注意を要する動物実験として、遺伝子組換え動物の飼育・実験と有害化学物質の投与実験が行われている。いずれも事故等の発生はないが、管理区域の設定範囲や各室の利用目的、飼養可能な動物について、動物実験委員会と遺伝子組換え実験安全委員会や実験動物管理者等の間で情報共有が十分に行われていない。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、基本指針に適合し、概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

4) 改善の方針、達成予定時期

管理区域の設定範囲や各室の利用目的、飼養可能な動物および逸走防止措置の的確性について、動物実験委員会および遺伝子組換え実験安全委員会、実験動物管理者等の間で、十分な情報共有を行い確実な把握と必要な対応を早急に進める。今年度内に具体的な対策を策定する。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

令和6年度実験動物飼養保管状況の自己点検票(様式2-2) 薬学部
 令和6年度実験動物飼養保管状況の自己点検票(様式2-2) 健康福祉学部
 令和6年度実験動物飼養保管状況の自己点検票(様式2-2) 農学部
 令和6年度薬学部動物実験施設 飼育ケージ数記録簿
 令和6年度薬学部動物実験施設 屍体廃棄記録簿
 令和6年度薬学部動物実験施設 入舎および退舎記録
 令和6年度薬学部動物実験施設 飼育状況管理表
 薬学部動物実験施設に関する微生物検査結果
 令和6年度健康福祉学部動物実験施設 屍体廃棄記録簿
 令和6年度健康福祉学部動物実験施設 入舎および退舎記録
 令和6年度健康福祉学部動物実験施設 飼育状況管理表
 令和6年度農学部動物実験施設 屍体廃棄録簿
 令和6年度農学部動物実験施設 入舎および退舎記録
 令和6年度農学部動物実験施設 飼育状況管理表
 高崎健康福祉大学薬学部動物実験施設 業務管理マニュアル(令和2年6月)

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)

マウス及びラットのみが実験動物として使用されており、適切な環境で衛生的に飼養保管されている。健康状態は、各飼養保管施設の実験動物管理者による見回りと SPF 飼育室においては半年に1回の微生物モニタリングにより確認されている。「飼育ケージ数記録簿」も設置されている。飼育室の温度・湿度等の環境測定、実験動物の飼育状況の記録、廃棄物処理等は適切に行われているが、利用

要綱・マニュアルへの明記に不足が見られる。例えば、利用要綱にケージラベルによる識別方法が定められているが、R6年度実施された外部検証において、表示方法や記載項目が徹底されておらず、担当者以外による把握が困難な状況が確認され、指摘を受けた。したがって、実験動物の飼養保管状況について、一部改善が必要である。

4) 改善の方針、達成予定時期

実験動物の適切な飼養保管のため、収容動物が正確にできるようにケージへのラベルの貼り付けおよび記載項目について徹底する。利用要綱（薬学）の記載を一部修正変更する。また、これまで薬学部動物実験施設（SPF 飼育施設）でのみおこなってきたモニタリングを健康福祉学部および農学部動物実験施設（コンベンショナル飼育施設）においても今年度から実施する。また、各動物実験施設での飼養保管状況管理のため施設内にWi-fiを設置し、ロガーを用いた温湿度管理に取り組む。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

令和6年度薬学部動物実験施設 保守契約書・保守点検実施報告書
 令和6年度薬学部動物実験施設 飼育室・フィルタ交換検査測定結果報告書
 令和6年度薬学部動物実験施設 オートクレーブ法定点検実施記録
 令和6年度薬学部動物実験施設 温度、湿度、換気等の環境条件の記録
 令和6年度健康福祉学部動物実験施設 加湿器保守点検実施報告書
 令和6年度農学部動物実験施設 空調機および換気設備系フィルタ清掃作業報告書
 令和6年度農学部動物実験施設 オートクレーブ自主検査記録用紙

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

飼養保管施設及び実験室は整理整頓されている。空調の保守点検の記録も保管されており、関係者以外が立ち入らないように施錠され、動物実験委員会による定期的な視察も行われている。前回の外部検証で指摘のあったセキュリティ対策や地震対策の改善も確認された。したがって、基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

利用者による定期的な清掃の実施や入室時の温度や湿度の記録を全施設でマニュアルに明文化し周知徹底する。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。

<p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>令和6年度高崎健康福祉大学動物実験従事者講習会講義資料、実施記録(全実施者対象)</p> <p>令和6年度高崎健康福祉大学健康福祉学部実験従事者講習会講義資料、実施記録(新4年生対象)</p> <p>令和6年度高崎健康福祉大学農学部実験従事者講習会講義資料、実施記録(新3年生対象)</p> <p>令和6年「実験動物管理者の教育訓練」修了証</p> <p>令和3年「実験動物管理者の教育訓練」修了証</p>
<p>規程に定められた内容を満たした教育訓練を毎年度実施しており、開催記録及び受講記録も適切に保管されている。また、実験動物管理者に対する教育訓練も、学外の研修会を活用して行われており、その受講記録も保管されている。したがって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>動物実験計画書の作成に関する情報や動物実験施設間での使用ルール変更点などの周知・徹底、動物実験に関する専門的な知識の共有を兼ねて、今年度から動物実験実施責任者および実施者を対象とする教育訓練を年に1回開催する。これまで講習で取り上げなかった安楽死およびその確認方法についても教育を行う予定である。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>高崎健康福祉大学ホームページ 動物実験に関する情報公開</p> <p>https://www.takasaki-u.ac.jp/guide/research/animal-experiment</p> <p>令和6年度自己点検・評価報告書(様式1-2:本書式)</p> <p>令和6年度動物実験の自己点検票(様式2-1)</p> <p>令和6年度実験動物飼養保管状況の自己点検票(様式2-2)薬学部</p> <p>令和6年度実験動物飼養保管状況の自己点検票(様式2-2)健康福祉学部</p> <p>令和6年度実験動物飼養保管状況の自己点検票(様式2-2)農学部</p>
<p>3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>動物実験委員会委員で構成される自己点検評価委員会を組織し、自己点検・評価を毎年度実施しているが、国立大学法人動物実験施設協議会及び公私立大学実験動物施設協議会が要請する情報公開項目の一部が公開されておらず、公開情報が最新版でないものも認められた。したがって、自己点検・評価、情報公開については、概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p>

4) 改善の方針、達成予定時期

自己点検に関する情報を Web で随時更新する体制を整備する。特に主要な飼養保管施設の名称及び飼養保管施設の数、動物実験委員会の所属部局/専門分野の追加を検討する。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。